

分散剤フリー水スラリー(微粒子酸化チタン系)

WT-01, WT-PF01

● 特徴

- ・分散剤フリーであるため幅広く処方に配合可能である。
- ・高度に分散しており、高い透明性、高いSPF効果が得られる。
- ・高密度シリカ処理により耐光性に優れる。

● 構成成分

製品名	医薬部外品原料規格				化粧品成分表示名称	INCI CODE	組成(%)
	規格コード	成分コード	成分名	簡略名			
WT-01	51	520925	微粒子酸化チタン	微粒子酸化Ti	酸化チタン	TITANIUM DIOXIDE	32.0
	51	109975	含水ケイ酸		シリカ	HYDRATED SILICA	8.0
	51	001370	精製水		水	WATER	49.8
	51	100040	1,3-ブチレングリコール	BG	BG	BUTYLENE GLYCOL	10.0
	51	522119	パラオキシ安息香酸エステル	メチルパラベン	メチルパラベン	METHYLPARABEN	0.2
WT-PF01	51	520925	微粒子酸化チタン	微粒子酸化Ti	酸化チタン	TITANIUM DIOXIDE	32.0
	51	109975	含水ケイ酸		シリカ	HYDRATED SILICA	8.0
	51	001370	精製水		水	WATER	46.0
	51	100040	1,3-ブチレングリコール	BG	BG	BUTYLENE GLYCOL	10.0
	51	532168	1,2-ペンタンジオール (別名:ペンチレングリコール)		ペンチレングリコール	PENTYLENEGLYCOL	4.0

● O/Wジェル処方例

	表示名称	WT. %
Phase A	1. イソステアリン酸PEG-20グリセリル	1.00
	2. ジイソステアリン酸ポリグリセリル-10	1.00
	3. イソステアリン酸グリセリル	0.50
	4. 水添ポリイソブテン	15.00
Phase B	5. BHT	0.05
	6. WT-PF01	17.50
Phase C	7. カルボマー	0.30
	8. 水	14.70
Phase D	9. キサンタンガム	0.10
	10. 水	14.90
Phase E	11. 水	27.75
	12. BG	5.00
	13. フェノキシエタノール	0.20
	14. ペンチレングリコール	2.00
		100.00

試験方法

1. Phase Aを量りとり、均一溶解させ80℃に調整する。
2. Phase Cを量りとり、均一溶解させる。
3. Phase Dを量りとり、均一溶解させる。
4. Phase Eを量りとり、均一溶解させ、PhaseC、PhaseDを加え、80℃に調整する。
5. ディスパーで攪拌しながら1を4にゆっくりと添加し、ホモミキサーを起動させる。(3000rpm-10min)
6. 攪拌しながらPhase Bをゆっくり加える。(3000rpm-5min)
7. アンカーで30℃になるまで冷却攪拌する。

SPF (in vivo) 37 PA+++

● WT-01と増粘剤との相性試験

試験方法

表に示した各種増粘剤溶液に
 WT-01を添加(酸化チタン分10%)、
 攪拌し、1ヶ月後の状態を観察

		RT	50℃
ヒドロキシエチルセルロース	2%	○	○
セルロースガム	2%	○	○
カルボマー	2%	○	○
キサンタンガム	2%	○	○
ヒアルロン酸	1%	○	○
ケイ酸 (Al/Mg)	2%	○	○
[アクリレート/アクリル酸アルキル(C10-30)] クロスポリマー	2%	○	○